

最古のアジア人・最古の日本列島人 — その古さを測る —

キーワード：人類の起源と進化、化石骨、年代推定、日本の旧石器時代人、ジャワ原人

人間文化創成科学研究科 自然・応用科学系 専門分野 自然人類学 松浦秀治

E-mail: matsura.shuji@ocha.ac.jp URL: <http://www.eng.ocha.ac.jp/anthropol/index.htm>

TEL: 5978-5769

人類の進化や日本人の起源を研究するには、その具体的な資料であり、様々な生命・生命体情報の宝庫として「化石となった生」とも言える古人骨を対象とした研究が不可欠である。そうした研究においては、資料の「古さを特定し、編年をおこなう」ことは「古人骨からのわかること」への基盤情報をなす。

旧石器でなく縄文



2001(平成13)年9月7日 毎日新聞

浜北人はやっぱり「旧石器時代の人」

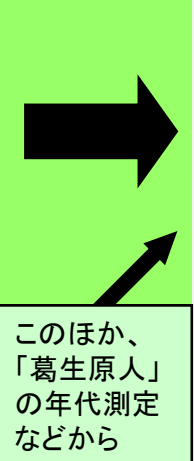
静岡県浜北市で約40年前に見つかった「浜北人」と呼ばれる人骨一骨(写真は約1万4千年前、旧石器時代のものだと確かめられた。制菓の水女子大の近藤勉助手と松浦秀治教授らが骨から直接、年代を測定した。この方法で旧石器時代の人骨が確認されたのは国内で初めて。翌日から東京都で開かれる国際人類学民族学会議で発表する。



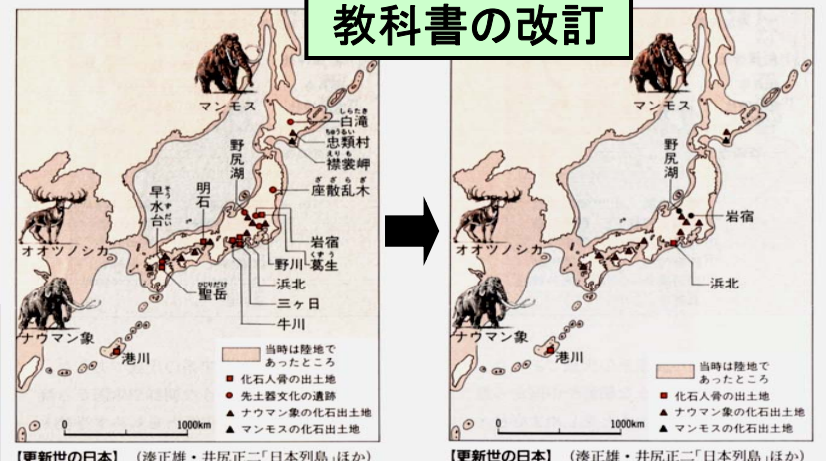
このほか、「葛生原人」の年代測定などから

2002年9月14日 朝日新聞 →

三ヶ日人骨や浜北人骨の年代測定



教科書の改訂



↑ 平成13年(2001年)度版 東京書籍 高校「日本史 B」教科書
↑ 平成14年(2002年)度版

ジャワ原人の研究もしています



← ピテカントロプス VIII号頭骨